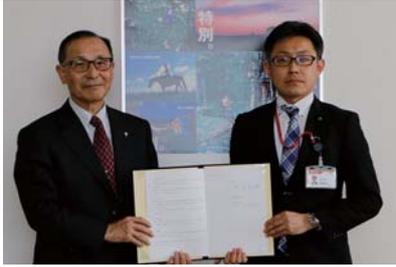


郵便局と連携協定



皆さんの身近にある町内の郵便局と当別町がそれぞれが持つ人的・物的資源を活用し、住民サービスの向上、地域の安全、安心の確保、地域の活性化を図ることを目的に包括的連携協定を締結しました。この協定により、郵便局と町が協力して道路損傷や不法投棄の早期発見、災害時の被災者支援等に加え、地域の情報発信、未来を担う子どもの育成に関することに取り組み、住みよいまちづくりが進められます。

(3月23日)

当別川まちづくり計画に登録



国土交通省が実施する、地域活性化につながる良好な河川空間を創出するかわまちづくり計画に、「当別川まちづくり計画」が登録されました。この登録により散策路やベンチの整備、案内看板の設置など、阿蘇公園と当別川が一体となった親水空間の創出や当別川沿いに歩道の整備が行われます。計画期間は本年度から平成34年度までで、北海道と町が共同で実施し、かわまちづくり支援制度の国の補助金が活用されます。

(4月4日)

日常生活をテーマに講演会



町介護者と共に歩む会主催の講演会が「知って得！誰かに教えたいくなる日常生活と体の動き！」をテーマに開催され約40人が参加。講師の介護老人保健施設愛里苑あかばねの赤羽根誠さんは、食べ物を食べた時の口腔内の仕組みや、「食事・トイレ・風呂・運動」の日常生活の場面の体の動きや仕組みなど、身振り手振りを交え講演していました。(4月17日)



住民票臨時受付窓口を開設



町では北海道医療大学生にスムーズに住民票を異動してもらうため、新入学生を対象に2日間「転入届出臨時受付窓口」を昨年に続き大学構内に開設しました。今回から新たな取り組みとして、町と大学が共同で住民票を異動した新入学生に「当別町共通商品券」5,000円分が贈呈され、町内での新生活を応援。臨時受付窓口は、夏休み明けにも開設を予定しています。今回届出をした薬学部のおぎょうとおるの荻生貫さんは「使い道は未定ですが、当別町を知るために有効に使いたい」と話していました。
(4月5日・6日)

期待を胸に笑顔の入園式



認定こども園当別夢の国幼稚園で「平成30年度入園式」が行われ、園児83人と保護者などが参列しました。式では子どもたちの大好きな手遊びをしたり、これから始まる園の生活が「人形劇」で楽しく紹介され、緊張していた子どもたちには笑顔がこぼれていました。参列したお母さんにお子さんの様子を聞くと「お友だちをたくさんつくりたい、運動会では1等をとりたいと家ではしゃいでいたのですが、まだ少し緊張していますね。でも、園での生活がとても楽しみです」と教えてくれました。
(4月13日)



広 告

広 告

広 告